

『自閉症支援の専門性の向上を目指して』

施設入所支援課 課長 岡 義雅

立秋とは名ばかりで猛暑が続いておりますが、皆さまお健やかに過ごしてはいかがでしょうか。
今年度、ゆらくの里においては、「ご利用者様の個々の人生を大切にして、ご本人にわかりやすく伝え、丁寧な支援をする」という事業方針を立てました。

現在、ゆらくの里は、75名のご利用者様がご利用されておられますが、他の入所施設と同様に、年々、重度の自閉症者の方の利用が増えてきており、全体の6割以上が自閉症者の方になっております。

重度の自閉症の方にわかりやすく伝えるためには、言葉ではなく、写真・絵・文字・実物等の目に見えるもので伝える方がわかりやすいと言われていますが、現状、ゆらくの里では、言葉で伝えることが中心になっていきます。それは、入所施設という変化の少ない環境の中で職員自身が言葉で伝わっているだろうと思いついて、そこもあると思います。私たちはその意識を変え、まずは、職員一人一人が自閉症について専門的な知識を学び、共通理解ができる職場環境を作っていくことから始めるために、昨年から、自閉症支援において中心的な存在となる職員を育成するためにチームを立ち上げ、また、外部研修等を積極的に受講するなど、自閉症支援の専門性の向上を目指して取り組んでいます。今年度はより一層、専門的支援をしっかりとした形にするために下記の通り具体的に行ってまいります。

- ① 外部からの専門家に入ってもらい、専門支援の実践力を高めていきます。
- ② 専門的支援を実践しておられる施設を積極的に見学に行きます。
- ③ チームを中心に統一した支援体制を構築していきます。
- ④ 自分たちの支援している取り組みを報告できる機会を作ります。

自閉症の方の支援をさせて頂くには、専門的な支援体制の構築だけでは難しく、環境改善も必要になってきます。これらの取り組みを行いながら、いぶき寮・みのり寮の居室の個室化を前提に施設改修の取り組みもスタートしていく方向に進めています。

ゆらくの里は、ソフト面もハード面も整えながら、自閉症支援の専門性を継続して高めていき、丁寧な支援ができるように取り組んで参ります。
今後、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。



《令和4年度 各事業報告》

◎施設入所支援事業（ゆらくの里、風鈴山荘、コテージ）

ご利用者様の QOL（生活の質）向上、自閉症支援の再構築、口腔ケアの強化を目標として取り組みました。QOL 向上に向けては、館内の不快な臭いを取り除くために、換気を徹底したり、排便周期のチェックの意識改革に取り組んだりしました。排便周期のチェックは、ご利用者様全員の健康状態と衛生面の改善を目指し、期間と確認人数を決定して取り組みました。自閉症支援では、プロジェクトチームを立ち上げ、メンバー同士が共通の理解を持ち、それぞれの支援グループで情報共有を図り、自閉症支援に関する知識の向上を図りました。令和5年度には、さらに専門的な支援を統一して実践できるようにコンサルテーションを導入していきます。口腔ケアに関しては、法人の歯科衛生士が週3回、グループごとにケアを実施することで、ご利用者様一人ひとりの口腔内の状態が大きく改善し、支援者側の口腔ケア技術と意識も向上しました。

◎施設通所支援事業（今人、我楽、すみれの里）

「魅力ある（選ばれる）事業の構築」を目指し、ご利用者様のニーズに応じた新たな活動の実現に取り組みました。特に ICT の活用に関しては、施設通所支援事業全体で注力し、学習アプリ（ご利用者様の状態や障害特性に応じた知育アプリや簡易なゲームなど）を活用した支援を行い、まずは iPad などの機器の操作に慣れる活動を行いました。令和5年度にはさらに活用の幅を広げ、コミュニケーションツールとしても利用していく予定です。また、就労事業においては、ナチュラルカフェモンステラにおいて、5月から生食パン「優香」と「穂香」の販売を開始しました。近鉄百貨店での試食販売を皮切りに、店舗外での販路拡大にも努め、売上向上に取り組んでいます。

◎地域支援事業（しえ〜く、のあ、児童）

児童部門では、iPad を活用した学習支援及びビジョントレーニングを実施しました。計算や漢字の練習など、プリント形式では集中力が続かなかった児童も、iPad のアプリで同様の課題を提供すると興味を持ち、集中して課題に取り組むことができました。ビジョントレーニングについては、発達障害の診断を受けた児童に多く見られる眼球運動の苦手さを改善し、目の動きを滑らかにできるように支援を続けてきました。ゲーム形式で楽しみながら取り組めるように工夫したことで、集中力の持続時間が向上し、目標物を正確に捉えることが少しずつできるようになっています。また、2月にはレクリエーションルーム内にシャワールームを新設しました。これにより、今まで支援できなかった身辺自立のための訓練を実施できるようになり、宿泊体験時や長期休み期間などを活用して新たな活動を企画・実施していきます。

生活支援センター「しえ〜く」では、地域で問題を抱える人々を早期に福祉サービス等の利用につなげるため、他の関係機関と連携し情報を共有していき、希望する生活のスタイルに合わせ、法人内事業所の紹介につなげる活動を行いました。また、他の関係機関と連携した際には、有用な情報を収集して이었습니다。

「グループホームのあ」では、一人ひとりが快適な生活を送れるよう、加齢や障がい特性に応じた食事提供内容と居室場所の改善に取り組みしました。食事内容の見直しにおいて、8月より株式会社ヨシケイの食材を使用することで、栄養管理を実施することができました。また、経年劣化を考慮した機器の入れ替えを実施し、住環境の改善を図りました。

《令和4年度 決算公告》



社会福祉法人 以和貴会

理事長 下村 卓司

資金収支計算書の要旨

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日) (単位:千円)

勘定科目	決算
事業活動収入	989,424
事業活動支出	863,612
事業活動資金収支差額	125,812
施設整備等収入	1,000
施設整備等支出	30,485
施設整備等資金収支差額	△29,485
その他の活動収入	—
その他の活動支出	54,504
その他の活動資金収支差額	△54,504
予備費支出	—
当期資金収支差額合計	41,822

前期末支払資金残高	340,150
当期末支払資金残高	381,972

事業活動計算書の要旨

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日) (単位:千円)

勘定科目	当年度	前年度	増減
サービス活動収益	979,478	926,645	52,833
サービス活動費用	902,712	817,281	85,430
サービス活動増減差額	76,766	109,363	△32,596
サービス活動外収益	9,945	4,183	5,762
サービス活動外費用	2,565	4,422	△1,857
サービス活動外増減差額	7,380	△239	7,619
経常増減差額	84,146	109,123	△24,976
特別収益	1,000	308,894	△307,894
特別費用	1,133	306,021	△304,887
特別増減差額	△133	2,872	△3,006
当期活動増減差額	84,012	111,996	△27,983
前期繰越活動増減差額	319,813	251,216	68,596
当期末繰越活動増減差額	403,825	363,213	40,612
基本金取崩額	—	—	—
その他の積立金取崩額	—	—	—
その他の積立金積立額	50,400	43,400	7,000
次期繰越活動増減差額	353,425	319,813	33,612

貸借対照表の要旨

令和5年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	403,120	364,748	38,372	流動負債	87,247	92,757	△5,510
固定資産	1,529,740	1,540,536	△10,796	固定負債	264,719	292,574	△27,855
(基本財産)	1,237,830	1,284,544	△46,713	負債の部合計	351,966	385,332	△33,365
(その他の固定資産)	291,909	255,991	35,917	基本金	640,964	640,964	—
				国庫補助金等特別積立金	386,263	409,334	△23,070
				その他積立金等	200,240	149,840	50,400
				次期繰越活動増減差額	353,425	319,813	33,612
				(うち当期活動増減差額)	84,012	111,996	△27,983
				純資産の部合計	1,580,894	1,519,952	60,942
資産の部合計	1,932,861	1,905,284	27,576	負債及び純資産の部合計	1,932,861	1,905,284	27,576

※ 計算書類、財産目録及び現況報告は、福祉医療機構のホームページにて公開しております。

<http://bit.ly/30bioJS>

※福祉医療機構のホームページ「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」

こちらから
ご確認頂けます



☆各事業イベント紹介☆

5/9 風鈴山荘 日帰り旅行

グループホーム風鈴山荘の日帰り旅行で、大阪の「海遊館」へ行ってきました。海遊館では、様々な種類の魚たちを前に、皆さんとても真剣な表情で水槽を眺めておられました。昼食後は、サンタマリア号に乗船！快晴の中、優雅に船の旅を楽しみました。ご利用者様は皆さん、久しぶりの旅行で笑顔が絶えず、とても楽しそうでした。



6/11 児童部門 HLJフェス

今年で第6回目となる、HLJ（はらじょ）フェスを開催しました。はぐ・らいぶ・じょいの頭文字をとってネーミングし、フェスの名前の通り3クラス合同で行い、大盛り上がりのお祭りとなりました！！昼食は、ポノビル駐車場にて焼きそば・おにぎり・フランクフルト等々…屋台風楽しんでいただきました。お腹いっぱい召し上がられ、みんな大満足の様子でした。その後は、レクリエーションルームにて縁日を実施。スーパーボールすくい・ダイナミック輪投げ・当て物など、袋いっぱいの景品をGETすることができ、みんな大喜びでした。最後は、恒例のビンゴ大会！！豪華な景品に目を輝かせ、ビンゴの数字に一喜一憂している子どもたちは、今日一番のテンションでした。



🌸 新入職員紹介 🌸

ご利用者様のために精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願いします



おの ひかり
小野 光梨 (5月15日入職)
しえ〜く パート

5月中旬より勤務しております。
日々学びながらではありますが、ご利用者様に安心して相談していただけるよう頑張ります。至らぬ点もあるかと思いますが、よろしくお願い致します。

『IWAKI ハロウィンフェス』開催決定！！



2023 年 10 月 22 日（日）に、香芝市ふたかみ文化センターにて『IWAKI ハロウィンフェス』を開催致します。
今年度はハロウィンテーマに、“仮装や歌・踊りを通じて地域共生を目指すイベント”として、香芝市行政のご協力を得ながら、地域住民、企業主の皆様、学校関係者、児童生徒の皆様と共に地域の活性化に繋げていきたいと考えております。詳細については、決まり次第、随時 SNS で発信していきます！

撮影無料 フォトブースで自由に撮影しよう！

当日はぜひ仮装してご来場下さい

仮装や歌・踊りを通じて地域共生を目指す

IWAKI HALLOWEEN FES

in 香芝市ふたかみ文化センター
(奈良県香芝市藤山1丁目17-17)

2023 10/22 SUN

10:00 15:30

来場プレゼント
ご来場いただいた方に「スイーツファクトリーモンスタラ」オリジナルクッキーをプレゼント♪
(無くなり次第終了となります)

Instagramにて情報発信中

#IWAKIハロウィンフェス

●駐車場のご案内
当日は、ふたかみ文化センター駐車場は使用できません。お車で越しの場合は、香芝市役所南側駐車場にお停めください。

主 催 / 社会福祉法人 以和貴会
後 援 / 香芝市

＜お問合せ＞
IWAKI ハロウィンフェス実行委員会
(社会福祉法人以和貴会 事業企画推進室)
☎ 0745-51-5115 (平日 8:30-17:00)

※当日、警報が発令された場合は中止となります。
また、台風の接近等により、危険と判断した場合も中止となることがあります。

舞台タイムスケジュール	模擬店
10:00 開会のあいさつ	● Good Job! Center KASHIBA [ホットドッグ]
10:30 香芝中学校吹奏楽部 (吹奏楽演奏)	● フレンズまきば [洋菓子]
10:55 DanceCrew★STYLE★(ダンス)	● 青葉仁会 [野菜、焼菓子など]
11:20 con brio (アングル演奏)	● あっとほーむ香芝 [フランクフルト]
12:00 カラオケ (以和貴会ご利用者様)	● 香芝市商工会女性部ひのふ [レモネード、野菜、お菓子、雑貨など]
13:00 ダンスビュース (ダンス)	● ULTIMATE CREPES [クレープ]
13:40 花吹雪紫音 (マジックショー)	● イシメン [うどん]
14:15 一条高校ダンス部 (ダンス)	● 台湾スノーアイス [かき氷]
14:55 いわき舞踊会 (よさこい演奏)	● とり香杏 [唐揚げ]
15:30 開会の挨拶	● Doula club [駄菓子、遊びなど]
	● 遊友会 [焼きそば]
	● ゆらくの里保護者会 [冷やしパイン]
	● フェリ〜チェ [パン、ラスク]
	● モンステラ [焼菓子]
	● ふれあいキッチン SORA [フライドポテト]



Instagramにて
情報発信中！



出演&出店情報を
随時発信します。

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ
岡橋 三起子

いよいよ夏到来！コロナ禍も一段落し、世間では様々な活動が活発になりつつあります。そのような中で、アトリエそれいゆメンバーさんの10年にも渡る取り組みがフィニッシュの日を迎えたり、また、コロナ前のような活気を取り戻したり…。「変化」の多い日々でした。今回は、この夏までの出来事を振り返ってみたいと思います。

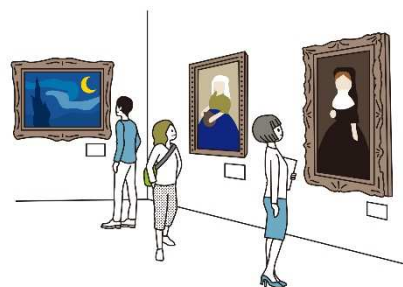
■ 山口裕樹さんの作品「a passing rain」日本に帰還！

アメリカ・ニューヨークのキャビン・モーリス・ギャラリーが所蔵していた、山口裕樹さんの作品「a passing rain」が、日本に帰還しました！

「ビッグアイ・アートプロジェクト2012」入選以降、10年にも渡る長い旅路は、ここに完結しました。作品のニューヨーク行きのお話をいただいた当初、ギャラリーとの契約書を目の前に保護者さんと理事長、そして私の3人で「ああでもない、こうでもない…」とカフェ・モンステラでとことん話し合ったのを、今でも覚えています。

「我が子の作品を手元に置きたいし、かといって、またとないチャンスなので、参加してみたいとも思う」と迷っておられる保護者さんに対し、理事長が「もし自分が裕樹さんだったら、一生に一度あるかないかぐらいのチャンスを生かしてみたいと思う」と保護者さんやご本人の背中を押し、海外での展示が実現しました。現地では、プロのアートスタッフが作品に600ドルという価値をつけてくださり、大切に作品を保存・展示してくださいました。

私にとって、ニューヨークでの展示は、一生の思い出に残る素晴らしい経験の一つになりました。障がいのある人の作品の価値を高め、大切にしてくださったキャビン・モーリス・ギャラリーの皆さん、そして、間に入って一連のやり取りをしてくださった国際障害者交流センター ビッグ・アイの皆さん、本当にありがとうございました！



山口裕樹さん「a passing rain」

■ 「第 35 回 T シャツアート展」開催】(NPO 砂浜美術館 主催)

2023 年 5 月 2 日 (火) ～5 月 7 日 (日) まで、「第 35 回 T シャツアート展」が高知県黒潮町・入野の浜にて開催され、アトリエそれいゆからは小山加尉さんの作品「マンダラ」を出展しました！開催期間中、会場の砂浜では、様々な催し物が開催され、コロナ前の活気を取り戻しつつありました。

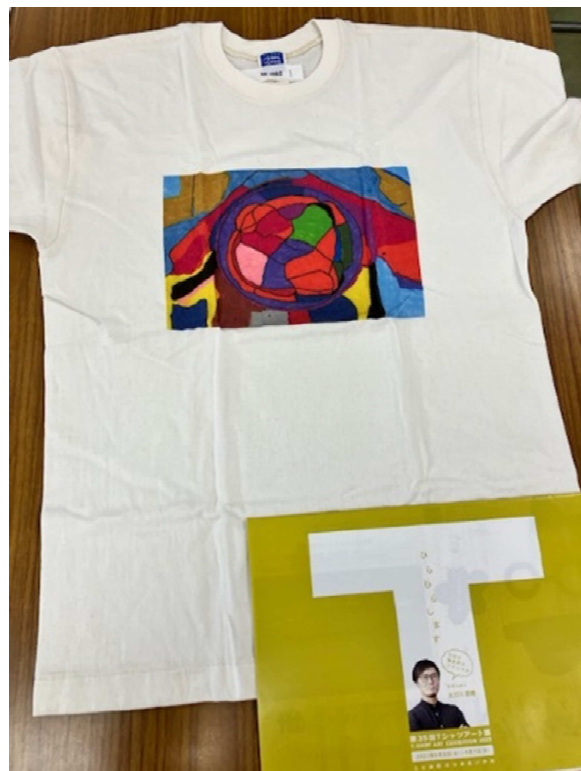
今年の審査員はプロダクトデザイナー・グラフィックデザイナーで建築家でもある太刀川英輔さん。

砂浜にひらひらとたなびく 979 点の T シャツは、作者さんの手元に帰るべく、ボランティアさん達の手によって 1 枚ずつ丁寧に梱包されます。今回も参加できて、本当に良かったです！

この幸せな風景が末永く続きますように…。



小山加尉さん「マンダラ」



■ 作品販売の喜び

アトリエそれいゆの高嶋和江さんの作品「にじいろ」を、「ぜひ、我が家にお迎えしたい！」という方が現れ、作品を販売しました！作品をご購入くださったゆらくの里管理栄養士の米田スタッフ、ありがとうございます！米田スタッフは、以前にも西谷光世さんの作品「elephant」を購入されています。お買い上げの際はいつも、実物の作品を観ていただき、実際に購入するかどうか決めていただくのですが、いずれの作品も「購入して本当に良かった。凄くカッコいい！」というご感想をいただいております。また、それと同時に「昔から、そこにあるような佇まいで、我が家に馴染んでいる」というコメントもいただきました。

アトリエそれいゆの皆さんの作品は、素直で優しい表現のものが多数あり、長く鑑賞できる（観る人がしんどくならない）のが良いところです。これからも、アールブリュットの魅力を発信できるように頑張ります！



(左) 西谷光世さん「elephant」
(右) 高嶋和江さん「にじいろ」



★『いわき舞踊会』出演情報★

6月3日（土）に、今井地区公民館で開催された、「地域づくり支援機構様主催の地域づくりシンポジウム」にて、『いわき舞踊会』のよさこい演舞を披露させていただきました。



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附をいただきました。皆様方からの寄附を施設整備など、有効に活用し、ご利用者様のために使用させていただきます。

《個人》

久門喜美夫、川北司朗、戌亥一幸、永田恵美子、片上芳子、山中輝夫

《業者ほか》

(株)坂本石油、(株)田原建設、(株)岡村プロテックス、(株)ステップワン

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。寄附金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

猛暑日が続いていますが、皆さんお元気でしょうか。各所で記録的な暑さが続いており、熱中症にも十分な注意が必要になります。熱中症予防の水分補給として0.1～0.2%の食塩と少量の糖質を含んだ飲料が推奨されています。市販のスポーツドリンクは糖分が多く、のどが渇いたり、水分の吸収率が悪かったりするので、飲む際には薄めて効率よく水分を吸収させましょう。

発行：社会福祉法人 以和貴会

住所：〒639-0261

奈良県香芝市尼寺6 1 6 番地

編集責任者：理事長 下村 卓司

Mail：office@yuraku.or.jp

発行月：令和5年8月